日本語を学ぶ海外の学生

◆海外で日本語を学ぶ学生・日本学科の卒業生◆
コロナ禍での授業などについて

日本語を学び、来日を希望している学生や日本語学科の卒業生がどのように過ごしているのかを、外国人の学生レポーターに寄稿して頂いた。

ベトナム

日本語に魅せられた私の生き方

ハノイ大学
日本語学科卒業生
■グエン・ティ・チュエン

私が日本という国を初めて知ったきっかけは、母が料理を作る際によく使っていた調味料「味の素」だった。日本と言えば即座に〝Ａｊｉｎｏｍｏｔｏ〟という言葉が思い浮かぶほど、「味の素」は長年にわたってベトナム人に愛用されてきた調味料の一つであり、「ベトナム人なら誰もが知っている日本語」の第一位にランクインされるほど、今日でも大変良く親しまれている。

日本語がまったく理解できなかった幼い頃の私は、ローマ字で書かれた〝Ａｊｉｎｏｍｏｔｏ〟というものがどのような意味を表すのか、なぜこのように長い名前がつけられたのかと疑問に思いながら、次第に興味を持つようになった。またその頃は「ポケットモンスター」や「ドラえもん」など日本製のアニメが、ベトナム語の字幕付きで放映されていたのだが、字幕を一つでも見逃したらストーリーの内容が分からなくなってしまうため、いつの日か字幕なしで見ることができるようになりたいと強く思うようになった。

そのため本格的に日本語の勉強を始めようと考え、高校卒業後ハノイ大学日本語学部に入学した。そして約三年間日本語を学んだ末、日本語能力試験（ＪＬＰＴ）Ｎ１を取得。大学三年生のときには日本語・日本文化研修国費留学生（日研生）の奨学金プログラムに合格し、お茶の水女子大学で一年間勉強する機会に恵まれた。在学中は日本語並びに日本事情に関する科目を履修し、それと並行しながら日研生のレポートを作成した。

２０１９年９月末に留学を終えて帰国してからは、大学に戻り最後の一年間を修了しなければならなかった。２０２０年１月23日に新型コロナウイルスの感染者が初めてベトナムで確認されるまでは、通常通り大学に通っていた。昼間は大学に通い、夕方からは日本語センターで日本留学希望者向けに日本語を教えるアルバイトに携わった。日本語教師となることで、生活費を賄うだけでなく大学で得たスキルや知識を活かすことができたため、楽しみながらアルバイトに没頭した。

大学四年生になってからは、主に通訳と翻訳・通訳演習・日本語文法演習等の科目を履修した。通訳の授業では教師が日本の総理大臣やベトナムの国家主席等の著名人によるスピーチを聴かせ、その後で通訳を行う学生を指名した。初めのうちは全ての情報を得ようとするあまり取捨選択ができず、重要な箇所を抜かしてしまうようなことが多かったが、通訳トレーニングを通して少しずつ発話者の伝えたい意図を汲み取りながら訳せるようになり、通訳者としての聞き方や姿勢がかなり身についてきたように感じられた。一方、翻訳の授業では学生をグループ別に分けて、テキストにある宿題を各グループで事前に翻訳し授業当日に発表するという形式を取った。大学での翻訳・通訳トレーニングのおかげで、学外では各種展示会での通訳・アテンド通訳・インタビュー通訳・書籍の翻訳等、数多くのアルバイトを経験した。その一方で、留学した際に「ベトナム人日本語学習者から見た日本人の曖昧表現」というテーマで作成した日研生のレポートを、卒業論文のテーマとして引き続き執筆した。休みの日は友達を集めて食事会を開いたり、ベトナム国内を旅行したりしていた。

新型コロナウイルス流行以前の翻訳授業の様子

やがて、ベトナムにおいても新型コロナウイルスの感染者が増加し、授業もオンライン形式に切り替えられ、各種試験もオンラインで行われるようになった。それだけでなく、企業のあいだでは新型コロナウイルスの影響を受けて業績が厳しくなり、人員の削減や賃金のカットといった事業の大幅な見直しを迫られ、新卒者は採用しないという傾向が増えていった。ベトナムでは大学卒業後に就職活動を開始するのが一般的であるため、私が卒業した２０２０年７月は正にコロナ禍のまっただ中であり、就職活動は前年よりも一層厳しく不利な状況となった。

日本語センターでアルバイトをした様子

このように厳しい状況下ではあったが、就職活動を頑張った結果、日本学生支援機構（ＪＡＳＳＯ）ベトナム事務所に就職することができた。現在、留学希望者からのメールやＳＮＳでの相談に対して、様々なアドバイスを行う業務を担当している。それ以外にもウェブサイトやＳＮＳでの情報発信や留学セミナーでのプレゼンテーション等、様々な業務にも携わっている。

ＪＡＳＳＯベトナム事務所で働き始めてからベトナム人学生と接する機会が多くなり、大学や専攻の選び方から奨学金に至るまであらゆる相談に対応していく中で、特に大学院への留学を希望する向学心を持ったベトナム人学生と接することが増えていった。そのことは私自身にとって大きな

フーコック島に旅行した時の写真。日本人の友達もできた。

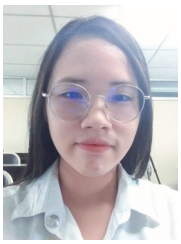
第七回ジャパンベトナムフェスティバルに参加した時

刺激となり、大学院進学への思いは更に強くなっていった。そのため日本政府奨学金研究留学生のプログラムに応募し、このたび無事に合格できた次第である。２０２２年４月には再度日本へ渡ることとなり、日本語教育のみならず留学生と日本人学生との交流を含んだ越日国際交流の更なる発展に向けて、微力ながらも役立ちたいと考えている。

タイ

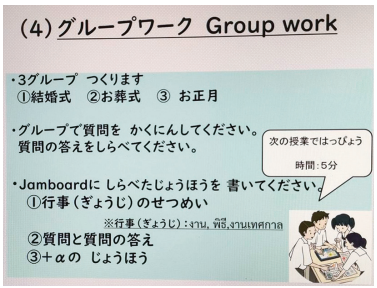
コロナの状況下でのタイの大学生

サイアム大学
日本語コミュニケーション学科
■ワナッチャーポーン・ガンサグンパーパー



私の将来の夢はタイで日系企業の通訳になることですから、今日本語を勉強しています。そして日本人とたくさん話すようにしています。通訳になったら、毎日日本人とたくさん会って日本語が使えるし、日本語を話せない人に伝えたい事や気持ちを通訳することができて、素敵な仕事だと思います。通訳は他の人を助ける仕事だと思っています。

私は子供のころから日本語が好きで、少年ジャンプのアニメを見たり、アニメの歌を聞いたりしていました。そしてアニメの登場人物の言葉を聞きながら、まねしてみました。その時日本語はかわいい言語だと思いました。それで高校一年生になったとき、日本語の勉強を始めました。私は日本語がもっと好きになりました。毎日何時間日本語を勉強しても疲れませんでした。新しい言葉や文法を知ったら、心の中に「楽しい。もっと頑張りたい。」と言う気持ちが生まれました。



授業でのグループワーク

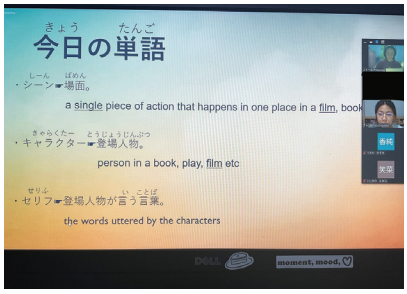
大学では一年生からゆかたの着方など日本の文化や、日本語でタイの文化を日本人に伝えることも勉強しました。今私は二年生になりました。二年生のクラスは全部オンライン授業ですが、とても楽しいです。私のクラスは二十人くらいです。先生の質問を聞いた後、私達は自分で答えを考えて、ブレイクアウトルームで答えをシェアしました。友達の意見や友達が使った新しい文法や言葉を知ることができました。もし学生が面白い言葉を使ったら、先生は学生に「この言葉をどこから聞きたいのか、どういう意味なのか」質問してクラスのみんなに漢字の書き方と例文を使った説明をしてくれます。先学期は日本語のマンガと日本語の歌をタイ語に翻訳する授業があって、タイ語がとても難しいこともわかりました。同じ意味の言葉もたくさんあって、語の並べる順番も本当に正しい方法がありませんでした。みんな日本語の意味が分かっていっても、タイ語に翻訳できなくて、相応しい言葉をめぐって、いろいろ話し合いました。クラスのムードは真剣でした。みんなの意見のおかげで、翻訳した歌やマンガは読みやすくなりました。

好きなトピックで話す

授業外活動では、オンラインで東海大学の日本人大学生とたくさん話しをしました。日本人の生活や日本の料理、日本のコロナの状況などについて話しました。若い日本人の話し方は本で勉強した文法と違っていて、聞こえるには聞こえますが、聞き取れないこともありました。でもよく聞いていると、知っている言葉もたくさんありました。また「副作用」や「高齢化社会」「プラネタリウム」など使うチャンスがなかった言葉を使うこともできました。いい経験になりました。

東海大学のオンラインミーティング

東北大学の大学生との活動では『日本語でビデオを作ろう！』と『タイと日本で違うこと』に参加しました。東北大学の学生達はとても優しくて、分からないところを説明してくれたり、別の言葉を使ったほうがいいと教えてくれたりしました。例えば私が先輩にむかって「言っておくけど」と言った時、それは怒っている時使う言葉だと教えてもらいました。もしこういう機会がなければ、本当の使い方が分からなくて、知らない人に勘違いされたかもしれません。



東北大学の日本語でビデオを作る活動

サイアム大学はたくさんの素敵な機会を与えてくれました。

週に五日日本語を勉強しています。毎週漢字テストがあるし、日本語でのプレゼンテーションもたくさんあります。大学だけではなく、Ｊ education という塾でも日本語を勉強しています。また自分で買った本も使っています。言葉を暗唱したり、インターネットで見た新しい文法をノートにまとめたりします。今年は日本語能力試験

日本語を教えるFacebook ページ

N2を受けますから、できるだけ日本語を使うようにしています。日本語が上手になるために、新しい言葉や文法を使ってみます。言葉の意味を忘れることがありますが、一回でも使ってみないと、覚えられないと思いますから、諦めないつもりです。

塾で使っている本と自分で読んでいる本

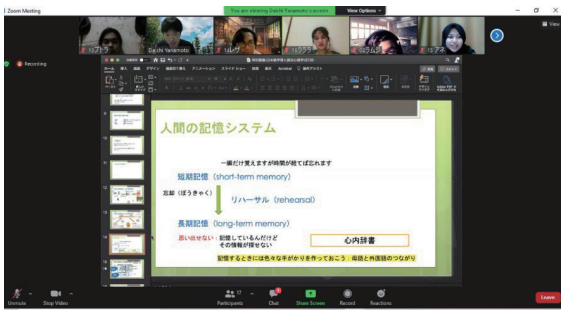
インドネシア

ダルマプルサダ大学
日本言語・文化学科3年生
■クリスティアン　プトラ　リアンディ

インドネシアの新型コロナウイルスのパンデミックは2020年3月頃から始まりました。政府からの緊急事態宣言が出てから、人々は自宅待機をし、外出できなくなり、学校や会社に行けなくなりました。その状況が原因で学校や会社などはオンライン形式で授業や会議が行われています。最初、授業は2週間だけオンライン形式で行われる予定でした。しかし、自宅待機命令が発表されても、規則を破り、保健プロトコルに従わずに外出する人も数多くいましたので、ジャカルタの新型コロナウイルスのパンデミックの状況がなかなか収束しませんでした。授業はもう2年もオンライン形式で行われています。

新型コロナウイルスのパンデミックの間に、色々なビデオ会議のアプリケーションを使用し、授業を行うようになりました。私の大学、ダルマプルサダ大学はGoogle Meet と Zoom Meeting を使用しています。先生や友達とのコミュニケーション、宿題や課題やテストを提出するためにEdmodo や Google Classroom、Eメール、WhatsApp、オンラインドライブなどのような教育に役に立つアプリケーションを使用しています。教師によって宿題の提出方法や使用するアプリケーションが違うので少し複雑です。

このような経験をもとに、私は、「新型コロナウイルスのパンデミックの間のオンライン授業」に関するアンケートを実施しました。まずは、オンライン授業でよく使うアプリについて質問しました。結果として、8割程度の人が最も使用しやすいアプリケーションはZoom Meetingだと答えました。私もそう思います。Zoom Meeting の中にはオンライン授業を便利にする機能がたくさんあります。例えば、授業中に小グループでディスカッションできる「ブレイクアウトルーム」や実際の教室にあるホワイトボードのような雰囲気になる「注釈ツール」などの便利機能があります。



オンライン授業の様子

今までのオンライン授業には、もちろん色々なメリットとデメリットがあります。私の経験とアンケートに基づき、いくつかのポイントをまとめました。

私たち大学生がオンライン授業中に経験するデメリットは以下のようになります。

1．インドネシアのインターネットの状態はまだ不十分です。接続の問題がよく発生し、学生がきちんと授業に参加できなくなる原因になります。

2．授業の内容を詳しく理解できないことです。もちろんオンライン授業でも集中して授業を受ける学生もいますが、教室の中にいるときだけ集中できる学生も少なくないようです。オンライン授業と比べたら、対面授業のほうが積極的に教師とディスカッションしたり、質問したりすることができると思います。

3．友達と直接会わないため、連絡ができなくなり、話し合えなくなりました。私たちはまだ大学生なので、学生時代は人脈を作る機会が多くあるべきだと思います。

4．授業中にカメラをオフにしたり、マイクをミュートにしたりする学生がよくいますので、教師の授業を聞いているかどうか少し不安になる時があります。

5．周囲の状況がうるさくて、授業の内容に対する集中力を失います。

オンライン授業のデメリットだけではなく、私たち大学生が経験するメリットは以下のようになります。

1．授業や生徒会の用事はオンライン形式で行われ、いつでも自宅から参加でき、わざわざ外出して大学に行く必要がありませんので、効率的に時間が使えます。

2．授業はオンライン形式で行われ、人の移動が減ります。これは新型コロナウイルスの対策の一つになります。

3．大学で勉強するためにジャカルタで一人暮らしをしている学生が多かったのですが、授業がオンライン形式で行われているおかげで、実家に帰ることができ、家族と一緒に過ごせる時間が増えています。

4．交通費の節約ができます。

授業はオンライン形式になってから私も色々なことにチャレンジできるようになりました。まずは、日本の大学が開催した日本語・日本文化の短期研修に参加しました。2週間ぐらい日本の大学の先生や学生と一緒に日本語・日本文化について勉強しました。また、3カ国が参加するSDGsに関するクラスにも参加しました。1か月間、オーストラリアとインドネシアと日本の大学生と一緒に交流し、各国にある環境問題について研究しました。こちらもオンライン授業のメリットの一つだと思います。遠く離れていてもインドネシア人と日本人が交流できるイベントに参加させていただきましたが、以上に述べたオンライン授業のデメリットのように、みんなと直接会えなくて残念でした。それでも、私は積極的に参加していました。カメラをオンにし、積極的に質問したり答えたりする必要がありますので、私はみんなと同じ部屋の中にいるような雰囲気を感じられました。

以上、私が経験したパンデミック時期での勉強について述べました。確かに新型コロナウイルスパンデミックは色々な影響を

与えましたが、教えられたことと課題や試験の難易度のバランスがとれているのであれば、オンライン授業はうまく行われていると思います。オンライン形式で行われているので移動の時間もかかりませんし、インターネットを通じて研究の材料を簡単に調べられます。しかし、インドネシアではインターネットの状態がまだ不十分であり、インターネットに接続できない町もあります。そのことが注意点の一つだと思います。オンライン授業を勉強の問題になると思わずに、もっと幅広く勉強できるチャンスだと思い、積極的に色々な活動に参加していきたいと思います。

台湾

日本語の学習について

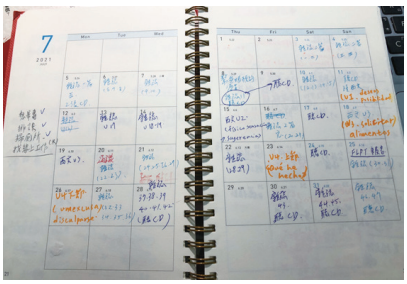
淡江大学
日本語学科4年生
■廖 岑蓁（リャウ チェン ジェン）

まもなく、淡江大学日本語学科から卒業する私は、今回のレポートをきっかけに、三年間の自分を振り返って、積んだ経験と思いを伝えようと思う。

日本語を学ぶ前に、二回も日本へ行った経験がある。旅行の中、びっくりしたのは、ごみがほとんど見かけないきれいな道だけでなく、どんな場所へ行っても、誰もがとても優しく応対してくれることである。つまり、日本人には独特の「おもてなし」の精神があることで、私の心を捉えることになった。また、日本のドラマやアニメにより、日本の社会や文化に興味をより一層惹かれることになった。

大学の専攻で日本語学科を選んだ理由は、二回行った日本旅行で日本との絆を感じたからだ。それに、日本語は他の国でよく使われて、将来の就職などにも役立つと思った。いつか、日本で勤めることに憧れている。学校が行う日本での実習に行きたいから、一年生と二年生のとき、お金を稼ぎつつ、日本語を必死に学んだ。あっという間に、三年生になって、実習の資格も取ったけど、結局、コロナで行くことができなかった。

中学校の模擬授業（2021年12月7日）


三年生の夏休みのスケジュール

それでも、生活を充実させるようにしなければならない。例えば、三年生の夏休みの間、日本語力をもっと上げたいし、日本の文化や社会をもっと知りたいため、Nippon所蔵という雑誌を読んだ。それに、新しい目標を立てることも不可欠だ。私の新しい目標とは、卒業してから、日本に進学しようということだ。進学したい理由は、日本語の教師になりたいからである。大学院の準備をしながら、早く昔の生活に戻れるという望みを抱き、毎日を過ごしている。また、今回の経験を通して、周りの人を大切にしようと思うようになった。

四年生としては、自分の目標とやりたい仕事を確立できることは幸いだと思っている。今でも、先生たちとクラスメートからもらったアドバイスや手伝いを頭に浮かべるたびに、感謝の気持ちが心より湧いて来る。

四年生の授業では、一番楽しんでいるのは教育実習である。その授業から勉強したのは教授法と教材の作り方のみならず、自信を身につけて、勇気を出すことも教師として、欠かせない資質であることだ。

毎回の授業は私にとって、特別な経験といえる。日本語教師になるために、なるべく豊富な実績と経験を得ておきたい。

小学校の模擬授業（2022年1月7日）

韓国

日本語学習の日々

霊山大学
日本語学科4年生
■キム・ジェファン

中学の時、偶然同じクラスの生徒がアニメを見ているのをいっしょに見ていたら声優さんの声や自然に動いているキャラクタに夢中になり自分でもアニメを探して見るようになった。中学の時はアニメを探したが、高校の時はアニメの原作である小説や漫画を探すようになった。20分程度の番組を毎週待てなかったので、勉強はあとにして翻訳されている小説を週に4冊以上は読んでいた。だが、作品の翻訳者は一人であり読んでいるもののつづきは2ヶ月以上は待たなければならなかった。悩む中、学校で日本語の授業が始まり、文字での日本語に初めて接したのである。ひらがなとカタカナだけであったが翻訳されていない小説を翻訳しながら読み始めた。2、3年は10分で1ページを読んだので自分のスピードより翻訳が終わった本が書店で売り始める方が早かったが今の大学に進学をきめ、本格的に日本語の勉強を始めたので両方のスピードはほぼ同じになったのである。大学の2年になってからは時間もお金もなくなったため、小説を読まなくなったがアニメは毎週疲れた自分へのごほうびであり新しい一週間を生きられる原動力である。

コロナが流行っている時、学校に出られずオンラインで授業が行われた。録画した映像を見たり、ライブの放送で先生が授業をし、生徒たちはチャットやマイクで質問をする形になっていたのである。

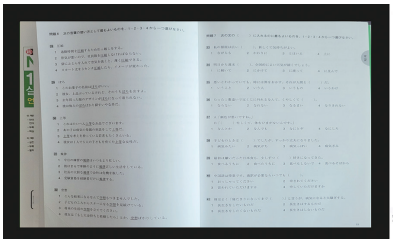
ワクチンの補給に従い社会的に距離をおこうと言う政策が緩和になりマスクをつけたらコロナ以前のように学校で授業を受けることができるようになった。言語の授業が理由かは知らないが、先生からの説明が文章の解析、会話が主な授業であるのでコ

ロナ以前と比べても大きな差はなさそうだ。

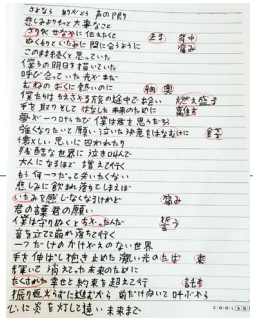
ワクチンが補給されたとはいえワクチンを打てなかった自分は食堂やカフェへ行くこともできなくなったのである。政策的にワクチンを打てない人やワクチンを打ってから6ヶ月以上になった人は室内でマスクを外すところは立ち入り禁止となっているので運動やショッピング、勉強などのすべてを家の中で解決しているのである。

家の中にいる時間が長引きながら映像を見るか歌を聞くようになった。それらを聞きながら即時にノートへ移す練習をしているのである。聞いて通訳するのはそこそこ自信があるが、漢字を書くか読むのはまだ弱いため、ひらがなを書いて漢字に入れ替えることが多いがこれもまた時間がたったら小説の翻訳と同じく実力があがり聞くだけで漢字を書けるようになると思う。歌の場合には何度も繰り返して聞くため歌詞を覚え、歌を聞けずとも歌いながらノートに歌詞を書いている自分を見つけられる。

映像は世界的に話題になっているバーチャルユーチューバーであるグループホロライブさんたちものやドラマコリアさんから字幕をつけてアップロードした孤独のグルメをみている。ドラマコリアさんからの孤独のグルメの映像では食べ物や飲み物などの飲食の単語が多いためドラマを見るだけで勉強になっている。ホロライブさんたちの映像はほぼ趣味的なものであるが、ネット場の言葉や最近よくプレーされているゲームのジャンルなどを知ることができる。



オンラインで行われる授業のすがた。右肩にチャット場があり質問ができる。



LISAさんの炎の聞きながら歌詞を書き間違ったところやひらがなで書いたものに漢字をあて嵌めることをした。

ほかの言語と同じく日本語は単語や文章をわかっていてこそ通訳や翻訳ができるのでコロナ禍と関係なく勉強の仕方は変わらないと思う。しかし、交換留学からの経験によると会話はじきじき現地の人と話し合うのが一番の腕の上がり方だと思う。

モンゴル

オンライン授業について私の考え

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科4年生
■ボロルトヤ

皆さんこんにちは、日本語通訳翻訳学科の4年生の学生ボロルトヤです。13歳の時、1週間日本に行きました。その時、日本には面白いものがたくさんあり、人々はとても親切で面倒見が良いと感じました。それ以来、日本で勉強して働くことを夢見ていました。また、日本に関係があることに興味を持つようになりました。そして、2018年に「モンゴル文化教育大学」に入学しました。日本語の勉強をし始めて4年になりました。この間にオンラインで2年間くらい勉強していました。私は日本語を勉強していましたが、前に進んでいないように感じ、他の学生と比較して落胆することがよくありました。オンラインで勉強する利点は、一度受けた授業内容を繰り返して、いつでも復習することが可能です。欠点は、授業内容を完全に理解することができなくて大変でした。一番大変だったのは、日本語の文法を理解することでした。なぜなら、先生にたくさん質問をすることと、文法を完全に理解するまでクラスメートと話し合うことができなくなったからです。また、私はいつも先生の指導を受けて勉強してきましたが、オンライン授業をはじめてから独立して勉強することを学びました。人は自分の母語以外、他の国の言語を一緒に学ぶといいと思っています。言語には国の習慣や伝統などすべてが含まれているからです。ですから、大学を卒業した後も日本語の勉強を続けて、「日本の大学で勉強し、しばらく日本に住み、働く」という子供の頃の夢を持ち続けていきたいです。日本についてもっと知りたいです。

日本語の授業について感想

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科3年生
■ツェンドルジ

こんにちは、私の名前はツェンドルジです。私はモンゴル文化教育大学の日本語通訳翻訳学科3年生の学生です。

私は日本語を勉強して3年目になり、勉強を続けることにたいへん興味があります。実際、私は最初にアニメを見て、アニメが好きになって、日本という国について知るようになりました。そしてだんだん日本についての知識を深めるために努力しました。姉が「ナルト」を見ていたのがきっかけで、アニメが大好きになりました。私が中学生の頃、「ナルト」以外のアニメもたくさん出てきて、全部見始めました。今、考えると、たくさんの時間をアニメを見て過ごしていました。今も、アニメを見ています。

言語を学ぶために、必要ないくつかの重要なスキルがあると思っています。ですから、子どものときからアニメを見たのは、私のリスニング能力に大きな影響を与えたと思います。スキルだけでなく、アニメから多くの良いことを学ぶことができたと、いつもうれしく思っています。

最初、日本語を学び始めたとき、漢字はとても難しかったです。モンゴル語には漢字がないので大変でしたが、少しずつだんだん慣れてきました。幼い頃からアニメを見たので、日本人の先生の話がわかりやすかったです。また、最初は読書が難しかったです。

私が1年生の冬、つまり前期が終わってから2020年に入り、新型コロナウイルスが世界中に猛威を奮いました。感染症が拡大しないために、ロックダウンが実施されました。それで後期はオンライン授業で、勉強していました。2年生も2020年11月11日からまたロックダウンになって、2021年6月までオンラインで勉強していました。モンゴル国はとても短い期間でコロナウイルスのワクチンを輸入して、国

民に打ったので、3年生の授業は教室で先生に教えてもらっています。とてもよかったと思っています。

オンライン授業は時間や場所にとらわれずに〝いつでも・どこでも・何度でも授業を受けることが可能〟な点が最大の特徴です。オンライン授業なら感染リスクを減らすことができるし、時間やコストも節約できる良い点があると思っています。先生とクラスメートとの実際の交流がないのはさびしいですが、本人が頑張れば問題がないと思いました。私のクラスのオンライン授業といえば、先生方が時間割通りに授業を教えて、詳しい説明をして、宿題を出していました。私は日本語が好きですから、時間通りにしっかり宿題をして、先生に送っていました。最初は慣れなくて難しかったですが、自分で計画を立てて実行し、体系的な授業をすることで、現在の知識を少し身につけたと思います。

日本語学習について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科2年生

■テムーレン

私はモンゴル文化教育大学の日本語通訳翻訳学科2年生の学生テムーレンです。

2020年に新型コロナウイルス感染症のせいで、モンゴルの全ての大学はオンラインで授業を教えることになってしまいました。大学ばかりでなく、小中高校もオンライン授業になりました。オンライン授業には良い点があると同時に、欠点もあります。

家から授業に出席することはとても便利でした。毎朝早く起きずに、授業の時間まで寝られます。小遣いをつかいませんでした。そして、授業中にお腹がすくこともありませんでした。好きな姿勢で座りながら勉強することは、一番便利でした。インターネットで知らない言葉を調べることが簡単でした。授業が終わったとたん、先生がその授業のプレゼンテーションをクラスルームに入れていました。

オンライン授業の欠点は、クラスメートみんなが一緒に勉強できなかったことです。田舎にいるクラスメートたちは、授業に出席することができませんでした。オンライン授業の次の欠点は、友達と会えないことでした。実はいつも一人だったから、本当に悲しくなりました。クラスメートたちみんなが対面授業の成績より高い点を取っていました。それは、不可能なことだと思っています。教室で習う方が、オンラインクラスで習うより効果的だと思います。

オンライン授業について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科3年生

■バトトヤ

こんにちは。私はモンゴル文化教育大学の日本語通訳翻訳学科3年生のバトトヤです。私にとって、2020年1月から2021年9月までの学年は非常に特別な年でした。なぜならば、小・中・高だけでなく大学もオンライン授業が行われはじめた時期だからです。

すべての授業を初めてオンラインで試してみました。新型コロナウイルス感染症が世界中に広まり、様々な問題を解決することは困難でしたが、すべてを電子化することにおいて進歩の年だったと思っています。以前は毎朝大学へ行って、クラスメートたちと教室で勉強して、終わったら帰ってきました。通学するときはいつも渋滞ばかりのウランバートル市の道を利用しており、多くの時間を無駄にしていました。しかし、オンライン授業が始まってから、私は交通渋滞に使っていた貴重な時間を自己改善のために有効に使うようになりました。

私たちの大学の先生方はオンライン授業のとき、Google MeetやZoomなどのラーニングプラットフォームを問題なく使用されていました。授業中に勉強を録音していたので、わからなかったことを補うことができるというメリットがありました。文法と読解と翻訳の授業の場合は、先生の説明を聞きながら教科書と教材を使って復習することが可能でしたので、問題がありませんでした。私の考えでは、大学のオンライン授業を受ける学生にとっては、以下のようなメリットがあります。

●通学による時間のロスがありません
●好きな時間に好きな場所で受講できます
●自分のペースで授業を進めることができ、わからないところは繰り返し視聴できます

オンライン授業に不安や不満を抱えている学生もいます。彼らの考えでは、オンライン授業には以下のようなデメリットがあります。

●実習・実技を伴う授業の実施ができません
●公平な評価やテストの実施方法が確立されていません
●インターネット環境によって受講できません
●先生と学生が対話できない

私のようにオンライン授業のメリットを感じている学生がいる一方で、学費を無駄に感じてしまう学生がいるだろうと思っています。

今後、オンライン授業の質を高め、受講ルールなどを整え、学生側も学校側も納得して実施できるような体制を作りながら、授業の対面・オンラインのハイブリッド化を進めていくことが求められると思っています。

日本語学習について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科2年生

■エンフフスレン

私は日本語通訳翻訳学科の2年生の学生エンフフスレンです。モンゴルでは新型コロナウイルスのため、2020年11月からロックダウンが行われ、小学校をはじめ大学などすべての教育機関の授業がオンラインになってしまいましたが、時間通りに授業を受けられてよかったです。先生は授業を明確に教えてくださって、私たちからの質問に答え、課題を確認し、先生と学生は両方とも責任を持っていました。授業のほかには、日本人の先生が日本について面白いクイズをして、積極的に学生を授業に参加させました。日本語の文法と漢字を別々に学

べたことがよかったです。1年生は専攻科目に加えて、一般的な科目がありました。一般的科目は、モンゴル語、モンゴルの歴史、哲学、情報技術でそれらを一学期勉強しました。モンゴル語の授業では、公式の手紙の書き方などを学びました。母国語の詳細な学習は、外国語をよりよく学ぶのに役立つため、非常に効果的な科目です。モンゴルの歴史、哲学、情報技術の主要なトピックに加えて、仕事に行くと、これらのコースの使い方や習得するスキルを教えられました。これは、大学での4年間で何に焦点を当てるべきかについての優れた指導でした。困難な時期に授業を教えて下さった先生方に感謝します。

オンライン授業について

モンゴル文化教育大学
日本語翻訳通訳学科4年生

■ガントール

私は2018年9月にモンゴル文化教育大学日本語翻訳通訳学科に入学しました。日本人の先生に教えられたのは初めてで、コミュニケーションもできたり、日本語で聞き取り、話したりなどして、だんだん文法と会話を理解するようになりました。私は日本語を初級レベルから学んで、日本語文法と漢字の書き方と発音を覚えて、とても頑張りました。2年生の1学期が終わるまで毎日大学に通って、先生と一緒に勉強をしていました。それで冬休みが始まりました。しかし、2019年末には、いわゆる「新型コロナウイルス」と名付けられた病気が世界中で急に広がって、モンゴルではロックダウンがなされ、学校、幼稚園、会社などがオンラインで授業やビジネスをすることになりました。人々の日常生活も大変変わって、知らないことやできないことも次々出てきました。学生たちはオンラインで学ぶ方法が分からなくて、先生たちもオンラインでの授業のやり方がよく分からないように感じていました。その時、日本語を学ぶのをやめようかと思っていました。2年生の2学期の終わりごろ、オンライン授業に少し慣れていた時に夏休みが始まりました。コロナウイルスによる国境閉鎖のため、日本人観光客が来なくなり、観光キャンプ場が営業できなくて、私は別の支店に転勤することにしました。来年もオンラインで勉強するかもしれないと思って、日本語を勉強し続けなければいけないとつくづく感じました。夏休み中は、新しいパソコンを用意して日本語で書く練習をしたり、読んだりして日本語の勉強を続けました。他の学生達もオンラインで勉強する方法についてよく調べたそうです。モンゴルではコロナウイルス感染が収まるにつれて2021年10月から、大学や小中高校などの活動が始まって、先生と学生たちは嬉しかったです。しかし、2022年1月、モンゴルで新型コロナウイルスの新たな変異株／オミクロン株／感染拡大の影響で、再びオンラインで授業が始まるようになりました。ただ、今はオンライン授業は面倒なことと思わないです。反対に大学に通うとき、交通渋滞にかかる時間を勉強する時間にあてられて、嬉しいです。先生達もオンラインで教えることについてもっと良くなったように感じました。オンライン授業は、仕事しながら大学で勉強している人にとって、とても適しているものです。学生が頑張れば問題はありません。必要な情報はインターネットからも入手できます。でも、もちろん長所と短所があります。オンラインで勉強していると、学生がクラスメートに会って、楽しい思い出を作ることができないのは少し悲しいことです。コロナウイルスのせいで、多少の企業が倒産して、経済も悪くなって、物価上昇で、パソコン、携帯、インターネットなどとオンライン授業の時必要なものを買うことができなくて、勉強ができない学生の数も増えていることもあります。

オンライン授業に対する学生の意見はそれぞれと違いますが、私にとってとても簡単だと思います。今後どのような形で勉強するのかと聞かれたら、間違いなくオンライン形を選びます。

日本語学習について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科4年生

■ホンゴルズル

私はホンゴルズルです。モンゴル文化教育大学の4年生です。大学に入学してから日本語を勉強し始めました。日本語はとても面白いです。モンゴル語と同じアルタイ諸語のルーツを持っているので、学ぶのにそんなに難しくなかったです。先生方の教え方が上手で、先生方と学生たちが自由にコミュニケーションできるのは本学の利点だと思います。

2020年1月からコロナウイルスが世界中に広まったことで、モンゴルも感染症を防ぐために、学校や幼稚園はオンライン授業に移行しました。どこからでもオンライン授業を受講するのは便利でした。また、欠席した授業を補い、理解できなかった授業を復習できるメリットもありました。

一方で、学校で勉強することと家で勉強することには大きな違いがありました。うちに幼い子弟妹がたくさんいるので、うるさくて集中できませんでした。また、じっと座って宿題をしようとしたら、家の掃除や料理や弟の世話などをしなければなりませんでした。必要な本や教科書をインターネットで検索することはできませんでした。買うには、高すぎて買えませんでした。以前は図書館で3～4時間ぐらい過ごし、必要な情報を見つけられました。そのうえネットワークの中断、40分後でズームアプリが切れたり、先生の話が聞こえなかったりなどの技術的な問題もありました。携帯電話が壊れて一週間、授業に参加できなくなったこともありました。こんな状態が長い時間続くと、勉強することへの興味がなくなりました。

私の場合は、オンライン授業より学校で勉強するほうが多くのことが学べるし、学校で過ごした時間を有効に活用できると感じました。

日本語学習について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科4年生

■ミチド

こんにちは、私はミチドと申します。モンゴル文化教育大学の4年生です。2年生と3年生のとき、全国の学校は世界中で問題になっている新型コロナ

ウイルスのため、オンライン授業になりました。私たちもオンラインで勉強を続けるようになりました。最初はどうやってするのか全然わかりませんでした。アプリの使い方も難しくて出来なかったのですが、これまでになかったアプリなど次々に出てきて、しかも使いやすいし、オンライン授業が簡単になりました。そして寒い中、学校に行かなくて楽だったし、お金もあまり使わなくてよかったです。でもその代わりに、人間関係がだんだん無くなっていきました。学校で勉強するときはクラスメイト達と会って、遊んだり、色々話すので、それがどれだけ楽しかったかよくわかりました。コロナのせいで誰にも会えなくなったことで、ストレスがたまりました。そして一日中ずっと携帯やパソコンの画面を見ていたから、目も悪くなりました。時間が経つにつれて、最初はやる気が満々だったのもなくなり、勉強をしなくなりました。もう一つは、私の国モンゴルでは田舎に住んで居る人たちはインターネットの電波が悪いため、たまにオンライン授業をできないときもあります。国の経済が悪くなり、データパッケージを買えない人もいました。なので私は学校で勉強した方がいいと思います。

オンライン授業の印象

モンゴル文化教育大学
コンピュータープログラム学科3年生
■ナムーン

こんにちは、私はナムーンと申します。私はモンゴル文化教育大学のコンピュータープログラム学科3年生の学生です。

新型コロナウイルス感染症が2020年の1月から拡大して、モンゴル政府は様々な対策を行っていました。

新型コロナウイルス感染症が拡大したこの困難な状況では、教室で授業に出席するのは危険だったので、大学や高校や中学校も全部オンラインで授業を行いました。すべての授業がオンラインで行われたとき、最初に実践的な観点から研究しなければなりませんでした。授業の質が低下し始めたと思います。もちろん、オンライン授業の経験も足りなかったと思っています。

私たちの大学もすべての授業をオンラインで教えていました。毎日、時間割通りに授業が行われていました。先生方も学生にわかりやすくするためによく準備して、教えていました。オンライン授業に慣れていないから、先生にも学生にも大変だったと思っています。だんだんやり方に慣れてきて、学生たちも学習方法をわかってきました。先生の説明をきいて、自分で文法と読解を学びましたが、話す力を上達させることは大変でした。

オンライン授業には多くのメリットとデメリットがあったと思っています。

メリット：

●柔軟であることを学びました。仕事と家庭、いつでも勉強できます。
●規律と責任。自習が増えました。
●講義ノートやビジュアルファイルよりも、学生が滞在して勉強するための資料やリソースがたくさんあります。
●自分で自分が学んだことを管理します。その結果、自分にとってより快適で便利な方法で学ぶ機会があります。
●経済的。交通費、昼食代、多くの節約が可能です。

デメリット：

●質問をしたり、先生とすぐに話したりする機会は限られています。オンライン授業の後、先生のメールアドレスにテキストメッセージを送信すると、先生の勤務時間が妨げられるのではないかと心配していました。
●電子図書館、研究論文、ビデオプレゼンテーションなど、現地の言語での電子リソースとトレーニング資料が不十分でした。
●チームワークとコラボレーションの機会は限られています。
●ラボ、インターンシップがオンラインで利用できることはめったにありません。
●メンターシップ関係の可能性は限られています。
●生のコミュニケーションが不足します。

日本語学習について

モンゴル文化教育大学
日本語通訳翻訳学科2年生
■オユン・エルデネ

私はモンゴル文化教育大学の日本語通訳翻訳学科2年生の学生オユン・エルデネです。モンゴル国では、新型コロナウイルスのせいで、2年間ぐらいロックダウンが続きました。それに従いオンライン授業に移行しました。1年生に入ったばかりだったので、ひらがなとカタカナを教室でクラスメートと一緒に勉強しました。だから簡単でした。日本語の授業は漢字と総合日本語で、3人の先生に日本語を教えてもらいました。オンライン授業になったけれども、授業は時間割通りに行われました。インターネット授業の時、個人的な問題がありました。それは時間を有効に使うことができないことでした。だから計画を立てるようにしました。また、授業以外の自由時間を効果的に過ごす能力を身に付け、自分を高めるためにたくさんのことを体験することができました。月曜日から金曜日までオンライン授業がありました。先生が前の日に資料をCLASSROOMに入れてMEETで説明した後、私たちは練習問題をして写真を撮ってコメントのところに入れました。先生がチェックした後、またコメントを書きました。また、分からなかったことをチャットで聞いていましたが、それは先生がオンラインにいたときだけ可能でした。試験の時は、決まった時間にみんな一斉に受けることができました。試験の時間に遅れないで送らないと、リンクが閉まる恐れがあります。時間に間に合うように急いで受けたことを今よく覚えています。でも、改革と変化には良い点と欠点があると思います。パソコンと携帯電話を使いすぎて、体と肌の健康に悪い影響を受けていたので、自然の美しいところで自由時間を過ごすように毎日散歩したり、ジョギングをしたりしています。次の欠点は、オンラインで勉強する環境がよくなかったことです。私の妹と弟もずっと家にいたので、オンライン授業に出席する時騒いだり、音を出したりしていたのが不便でした。